

4月1日 9:00 新規採用職員紹介 市長訓示

令和4年度新規採用職員辞令交付式にあたりご挨拶を申し上げます。

始めに、山田能新議長ならびに議員各位におかれましては、何かとご多用の中をご出席いただき、新規採用職員に対してご激励をいただきますこと、誠にありがたく改めて厚くお礼を申し上げます。

それでは本日ここに、大きな希望と決意を胸に整列された21名の皆さんに申し上げます。

いま皆さんの胸の中には、「平戸市職員として地域のために尽くすぞ」という溢れんばかりの固い信念が漲っており、力強い頼もしさを感じます。

皆さんは本日から、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者としての責任をしっかりと認識して、「市民の利益のために何をなすべきか」を肝に銘じながら、若者らしい迫りに満ちた前進を続け、一日も早く郷土の発展のための逞しい原動力となって頂きたいと思います。

さて、以前までは、公務員に対するイメージとして、ややもすると「安定した職業でリスクが少ない」と捉えられている傾向もありましたが、現実決してそんな悠長な職場環境ではありません。特に市の職員は、公務員の中でも市民に一番近く寄り添いながら、最前線の任務を担っています。

実際に業務と直面して真剣になればなるほどその内容は予想以上に厳しく、時には待ったなしの局面が待ち受けていることを思い知らされます。

当然のことながら、時代の流れとともに様々な分野において、変化に適応し

なければならぬ課題が次々と押し寄せており、それは個々人の価値観の多様化から天変地異など自然現象の在りようまで多岐にわたり、これまでの経験や想定をはるかに超えた対応が求められる現実に悩まされることが多々あることも事実であります。

どうか先人が遺した「初心忘れるべからず」の教訓を胸に、上司や先輩職員の指導をしっかり受け止め、どんな困難にも敢然と立ち向かうことのできる優れた組織人として今日から直ちに独り立ちしてください。時代の変遷を先取りし、地域住民の皆様にご信頼される職員として常に責任ある行動をとるよう強く求めます。

ここで改めて、全ての職員各位に新年度に向けた決意を申し上げます。

世界に猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しながら感染力が強かった第6波の影響も収束の兆しが見えたかと思いつつその減少傾向は鈍化しているようです。まん延防止法等重点措置も全国レベルで解除されるに至っておりますが、今後とも緊張感をもって感染拡大防止策を市民の皆様とともに徹底していかなければなりません。

私たちはこの2年間、体験したことのない未知のウイルスとの闘いに明け暮れてまいりましたが、一方でその経験を通して得られた新しい生活様式や非接触型資機材をはじめとする技術革新機器の幅広い導入によって、時代の流れが一気に加速化されたことを実感しております。これらに即応していくためには個々人の意識改革はもとより、行政組織としても劇的な変革の潮目に適応して

いかざるを得ない状況にあります。

その意味するところは、コロナ禍以前のような安息のひと時に戻ればいいなという淡い期待に身を寄せることではなく、20年先の未来が一気に押し寄せてきたことを感じ取ることが重要であります。例えば、1か所に集まらなければ会議が成立しない時代は終わりましたし、また買い物も家から出かけずにクリック一つで自宅まで届くサービスが津々浦々まで広がりました。このように目まぐるしく変わる諸情勢とそれに裏付けられる個々人のニーズや価値観の変容に対し、敏感かつ的確に対応できるような柔軟性を身に着けるためには、これまで以上に、それぞれが持つ情報アンテナを高く掲げ、目の前に山積する行政課題に精力的に向き合い、市民の皆様とともに民間協働の仕組みと理念を確実に共有しながら、あらゆる挑戦に向かう決意が不可欠です。

そのために心がけなければならないことは、これまでの慣例にとらわれず、目の前の事業はいったい何のための、誰のために必要な施策であるべきかという本質を見極め、その目的とされる最大効果を引き出すことに焦点を絞ることです。またその目的の達成のためには、誰が担うべきか、誰と組むべきかという事業推進力や相乗効果などを種々選択しながら迫りくる課題を次々とクリアしていく俊敏かつ柔軟な思考も大切です。

私たちは、ここに新しく加わった職員の皆さんの心意気と同じくして、フレッシュな躍動感を日々の実務に反映する決意を新たに、新年度のスタートラインに立ちたいと思います。

そして新たに職員となられた皆さんは、これからの毎日を経験豊かな先輩の方々の厳しい指導を仰ぎながら、心を一つにして何事にも臆することなく全力を尽くして努力されることを強く要望します。

コロナ禍に見舞われたこの二年余の間、職員同士の食事会やイベントごとの慰労会などが叶わなかったことで、組織内のコミュニケーション力や相互信頼が脆弱になっていることも指摘されていますが、今後は感染対策を継続しながら、快適で効率的な職場環境を構築し、職員相互のチームワークの醸成に取り組んでいただきたいと思います。

以上、新年度における職員の皆さんのさらなる活躍を期待して、年度当初の挨拶といたします。

令和4年4月1日

平戸市長 黒田成彦